



こども園 トピックス

～9月 こんなことをしてあそんだよ～

2025. 9. 彩都けいあい

朝夕は ようやく秋らしい風が吹くようになり、日中も木陰は涼しく園庭で遊ぶ時間が長くなって来ました。「今日はお外行かないの?」「もう暑くないよ」と外遊びが大好きな子ども達。園庭は笑顔でいっぱいです。

＜年少組の保育＞ ～クリームソーダおいしそう～



画用紙の半分だけ絵の具を塗り、折りたたんで転写する「デカルコマニー」という技法を使って「クリームソーダ」を作りました。画用紙に色を塗る際「全部塗らないで半分だけ塗ってね」と伝えたと全員半分だけ塗ることが出来、「話を聴く力」の成長に驚かされました。

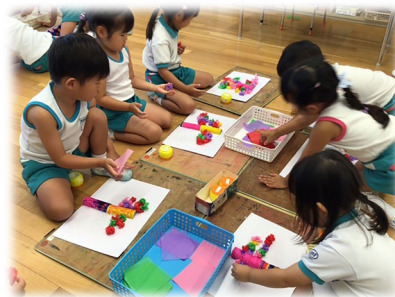


実際に「クリームソーダ」を見たり飲んだりする経験はまだ少なく「かき氷かな?」という言葉も聞かれましたが、写真を見たり炭酸水の音を聞いたりして、イメージを膨らませトッピングのアイスクリームやさくらんぼをのせて美味しそうな「クリームソーダ」ができました。

＜年中組の保育＞ ～トンボを作ったよ!～

園庭でトンボが飛んでいるのを子ども達と見つけ、9月はトンボの製作をしました。

「羽はどんな形?」「ちょうちょはこうだけど、トンボは横だよ」と子ども達と話しながら作り進めていきました。羽を描いてその中をカラフルなおはな紙で埋めて羽を作りました。丁寧に手の平でおはな紙を丸め一つひとつ付けていくと、立体の羽ができました。目をハサミで丸く切ることが少し難しかったですが、全員が自分で切ることに挑戦しました。いろいろな方向を楽しそうに見ている目と、カラフルな羽がとても可愛いトンボができました。



＜年長組の保育＞ ～かるたを作ったよ～

十五夜にちなみ、お月見の製作を行いました。一番苦戦したのは、折り紙で本物のススキの様に細長く巻いていくことです。慎重に進めていましたが段々と太くなってしまいうススキに「難しい～」と、声を漏らしながらも一生懸命取り組みました。ススキ以外にも、お月見団子・うさぎ・お月様等も作りました。お団子やうさぎの耳を切る際には、自ら2枚重ねて一気に切る工夫をする子も見られ、そんな子ども達の様子に感心しました。今回の作品は工程が多い為2日に分けて挑戦しましたが、最後まで諦めずに完成させることが出来ました。



＜お願い＞

＝年少組の午睡について＝

昨年度は10月から毎日の午睡を継続する、しないを選択して頂いておりましたが記録的猛暑もあり、大人でも体力を奪われるこの頃、又行事などで活動量も日に日に増えていることから、短時間でも仮眠を取り、蓄積疲労からくる体調不良を未然に防いでいくという観点から、今年度より年少組は3月末まで午睡を継続していくこととなりましたのでお知らせ致します。

※尚、園での午睡により帰宅後の生活に支障をきたすなど、お困りの点がございましたら個別にご相談下さい。

♪ 今月のうた ♪

＜年少組＞ 「虫のこえ」

1. あれ松虫が鳴いている
ちんちろ ちんちろ ちんちろりん
あれ鈴虫も鳴き出した
りんりん りんりん りいんりん
※秋の夜長を鳴き通す
ああおもしろい虫の声

2. きりきりきりきり こおろぎや
がちゃがちゃ がちゃがちゃ くつわ虫
あとから馬おいおいついて
ちょんちょん ちょんちょん すいっちょん
(※繰り返す)

＜年中組＞ 「手の平を太陽に」

ぼくらはみんな生きている
生きているから歌うんだ
ぼくらはみんな生きている
生きているから悲しんだ
手のひらを太陽にすかしてみれば
まっかゝ流れる ぼくの血潮
ミミズだって オケラだって
アメンボだって
みんなみんな生きているんだ
友だちなんだ
※2番まで歌います



＜年長組＞ 「ぼくだけのトロフィー」

みんなが走る 一緒に走る
手と手 足と足 ぐるぐる動かして
ぼくも走った 一生懸命走った
心臓バクバク 汗びっしょり
みんなの背中が遠くなる
表彰台も遠くなる…
だけどぼくは 誰でもないぼくさ
ビリでもいいさ ぼくはぼくなんだ
ゴールを目指せ よそ見なんかするな
ぼくだけのトロフィー つかむんだ!

※2番も歌います